

岡山県の認知症施策について

岡山県の認知症施策の体系

1 普及啓発・本人発信支援

- (1) 認知症サポーター等の養成
 - ・認知症サポーター及びキャラバン・メイトの養成
- (2) 認知症に関する理解促進
 - ・世界アルツハイマーデー及び月間などの機会を捉えた普及啓発
- (3) 認知症の人本人からの発信支援
 - ・本人ミーティングの普及等の推進

2 予防

- ・通いの場の整備等を推進する市町村の取組支援

3 医療・ケア・介護サービス

- (1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備
 - ・認知症疾患医療センターの設置
- (2) 認知症サポート医の養成
 - ・認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修の実施
- (3) 医師等の認知症対応力の向上
 - ・医療従事者（かかりつけ医、看護職員、歯科医師、薬剤師等）を対象とした認知症対応力向上研修の実施
- (4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成
 - ・介護従事者を対象とした認知症対応力向上研修等の実施

4 地域で支える体制の整備

- (1) 認知症の人とその家族への支援
 - ・「おかやま認知症コールセンター」の設置運営
 - ・介護家族等の交流会の実施
- (2) 若年性認知症の人への支援
 - ・「おかやま若年性認知症支援センター」の設置運営
 - ・就労・社会参加のネットワーク構築及び関係機関との広域的な連携強化
- (3) 市町村の取組の支援
 - ・認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の好事例収集・発信
 - ・認知症の人やその家族のニーズと支援者をつなぐ「チームオレンジ」整備の支援
- (4) 成年後見制度の利用促進
 - ・成年後見制度を利用できる体制整備ができるよう普及啓発
 - ・市民後見人の養成及びフォローアップ研修の実施
- (5) 行方不明の認知症高齢者への対応
 - ・市町村内や県内外における広域見守りネットワークづくりの推進

4 議題

(1) 岡山県の認知症施策について

ア 認知症パンフレット（県版）の作成について

①経緯

- ・ 認知症の人やその家族の声

診断直後、医療機関で、相談窓口の紹介や、医療費軽減・経済面の支援制度の説明がなかったが必要と思う。
※

- ・ 医療機関での情報提供の必要性についての認識の高まり

認知症の診断後に適切な支援が受けられず、社会的な孤立や様々な問題が生じる「空白の期間」（「症状が出てから認知症の診断を受けるまでの期間」及び「認知症の診断を受けてから介護保険サービスの利用が始まるまでの期間」）をなくすことが必要。

- ・ 医療機関の意見

認知症の告知はデリケート。サービスを受けることに消極的な人もいる。

②パンフレット作成案【R5新規事業】

(1) 目的

- ・ 診断後の認知症の人の不安や孤立感、家族の負担感を軽減する。
- ・ 診断を受けていないが、認知症のことが気になっている人への情報提供。
- ・ 医療機関に市町村域を越えて通院するなど、市町村が作成する認知症ケアパスで対応できない患者等への情報提供

(2) パンフレット設置場所

- ・ 認知症疾患医療センター、認知症診療病院、認知症サポート医、若年性認知症支援センター等
- ・ 県ホームページにパンフレットのデータを掲載

(3) 内容

- ・ 認知症に関する正しい情報や支援制度・相談先等
(掲載内容として考えられるものの例)
 - 認知症の原因疾患
 - 認知症の予防につながる習慣
 - 早期受診のすすめ
 - 自己診断リスト
 - 相談窓口（かかりつけ医、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター、コールセンター、若年性認知症支援センター 等）
 - 認知症の人への接し方 等

(4) 配布時期

- ・ 令和6年3月頃

4 議題

(1) 岡山県の認知症施策について

イ 若年性認知症の人の支援について

①おかやま若年性認知症支援センターの活動実績

1 対応実人数（人）

R 3 (うち新規)	R 4 (うち新規)
73 (36)	72 (31)

2 対応件数（件）

R 3	R 4
826	834

3 センターへの相談電話（件）

R 3	R 4
248	198

（「2. 対応件数」の内数）

4 相談者延人数（人）

	R 3	R 4
本人	97	98
家族	275	288
地域包括支援センター	45	59
ケアマネージャー	22	29
医療機関	18	17
行政	23	14
職場	9	6
その他	24	9
支援センターから発信	329	316
計	842	836

5 相談・支援内容(複数計上)(件)

	R 3	R 4
医療関係	186	135
就労問題	154	87
経済問題	131	144
医療費	31	32
障害者手帳	19	19
権利擁護	3	12
介護保険	85	35
家族問題	170	110
その他※	888	872
計	1,667	1,446

※居場所、対応方法、今後への不安などを含む

6 相談・支援の例

- ・個別ケア会議、初期集中支援チーム員会議等に参加して、支援方法の助言等
- ・健康保険、年金、精神保健福祉手帳、介護保険等の制度説明や、必要な手続の支援
- ・仕事上の注意や工夫、利用できる制度等について、勤務先や本人への助言等
- ・医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の関係機関からの照会への対応や助言等のサポート

7 その他の活動

- ・医療、福祉、雇用の関係者からなる自立支援ネットワーク会議の運営
- ・研修、講演会等への講師派遣（岡山県サポート医のつどい、新見市地域包括支援センター職員への研修等）
- ・関係機関を訪問しての啓発活動（啓発資材の配布を含む）
- ・岡山県認知症疾患医療センター連絡会議、岡山県域両立支援推進チーム員会議に参加しての連携促進

【注】「R 3」「R 4」は年度を表す。R 4は12月末までの実績

4 議題

(1) 岡山県の認知症施策について

イ 若年性認知症の人の支援について

②課題

- ・若年性認知症の人やその家族の中には、相談機関や支援制度を知らないまま過ごしている人がいる。
- ・利用できたはずの制度を利用できなかったため、本人やその家族が疲弊・孤立したり、経済的に困窮している場合がある。

③県の啓発活動（センター実施分を除く）

- ・路面電車でおかやま若年性認知症支援センターの広告
- ・県長寿社会課ホームページで、おかやま若年性認知症支援センターやひまわりの会等の支援制度の案内
- ・認知症パンフレットの配布【R5～】



ご協力をお願いします

- ・関係機関（特に医療機関）で、若年性認知症にかかる相談機関や支援制度の情報提供
- ・必要に応じて、医療・介護職員への研修時に、「若年性認知症」の内容の追加
(チラシ等が必要であれば、センターにご連絡いただくか、ホームページからダウンロードしてください。
センターからの講師派遣は無料ですので、ご依頼ください。)

○おかやま若年性認知症支援センター

電話 086-441-4728 (当事者からの相談電話は086-436-7830)

<https://www.pref.okayama.jp/page/615109.html#jaku>



4 議題

(1) 岡山県の認知症施策について ウ チームオレンジについて

チームオレンジの取組の推進

◆「チームオレンジ」とは

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーター（※）を配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。

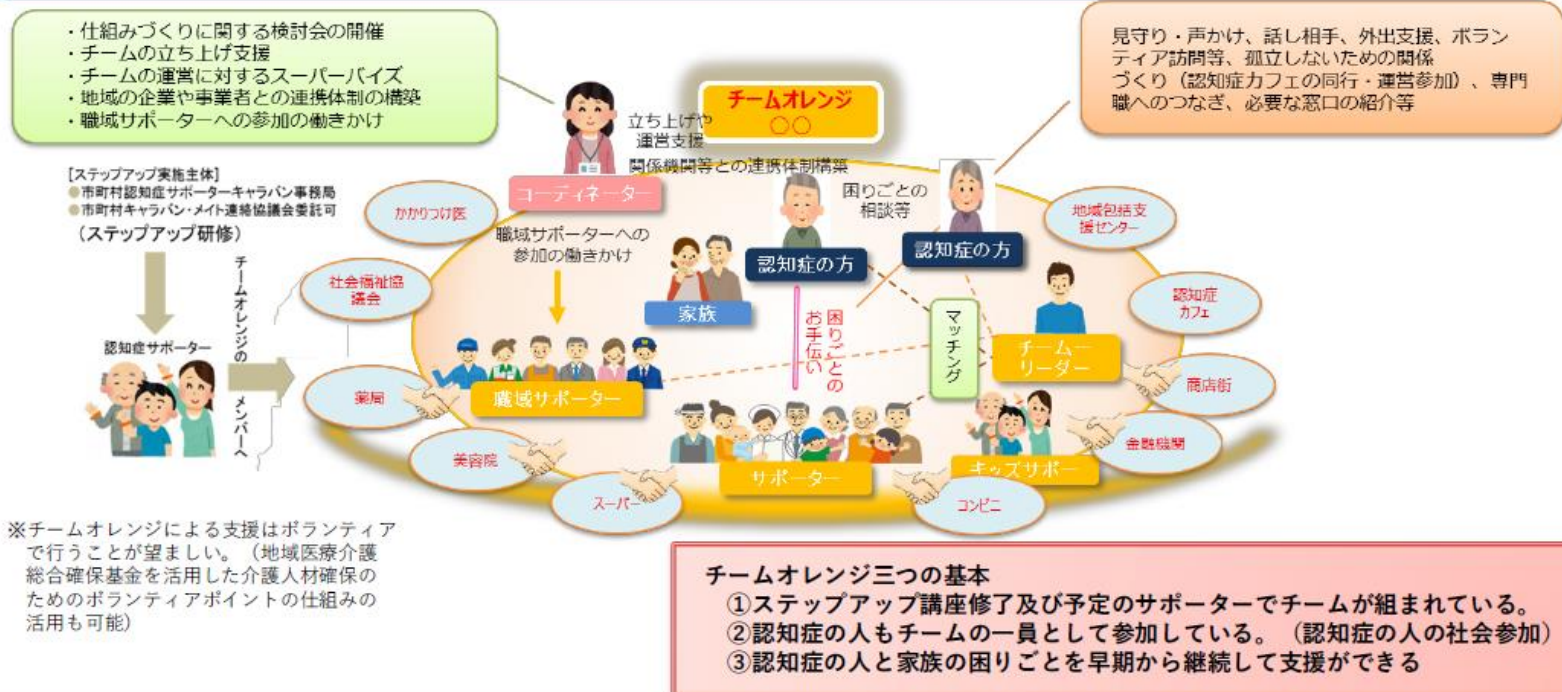
（※）認知症地域支援推進員を活用しても可

【事業名】認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業（地域支援事業交付金）

【認知症施策推進大綱：KPI/目標】2025（令和7）年

・全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジなど）を整備

→ 実施状況：46都道府県220市町村で、492チーム・8,481名のチーム員が活動している（令和3年度実績）



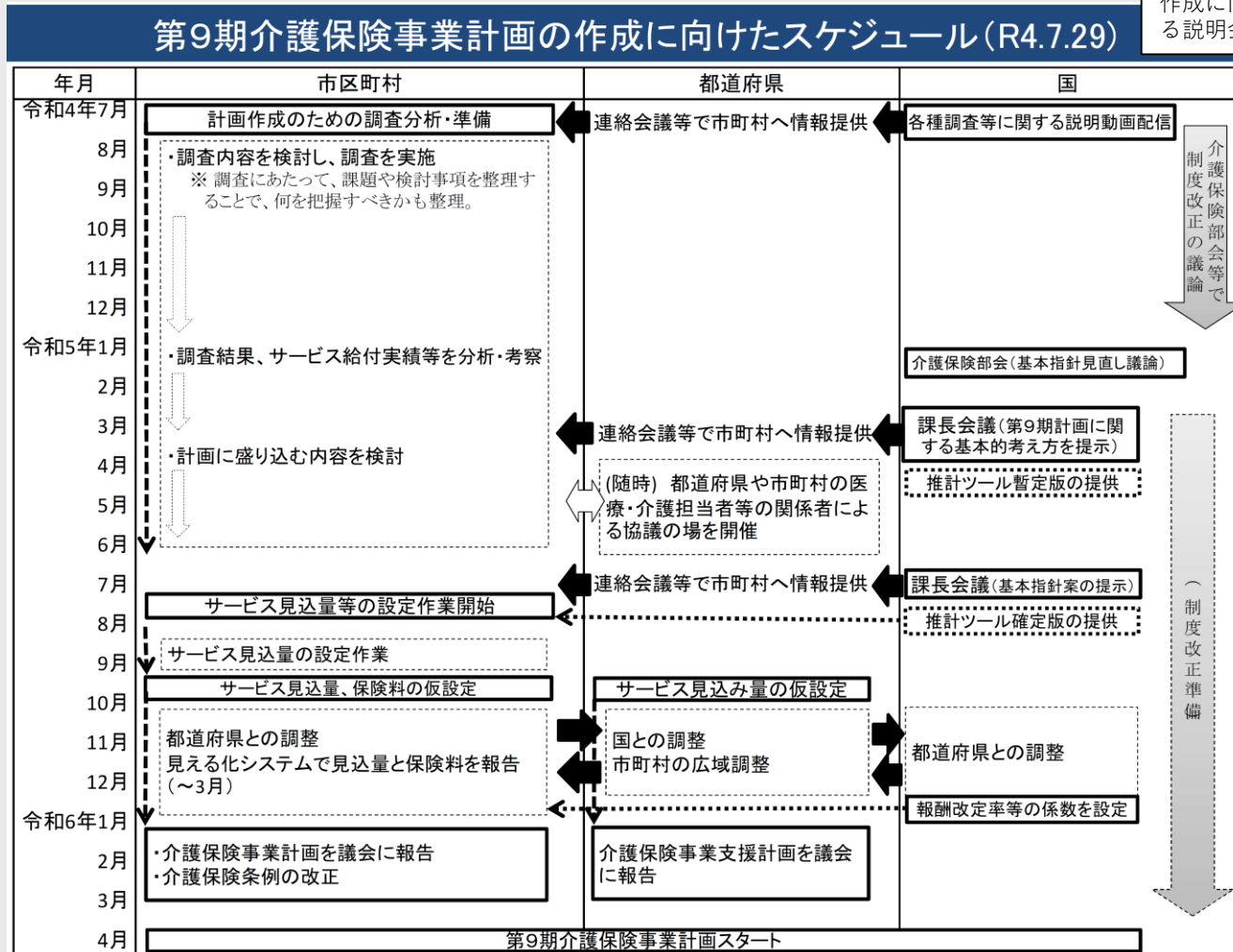
認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しするとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備10

4 議題

(1) 岡山県の認知症施策について

エ 第9期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画の策定について

R4.8.4 第9期介護保険事業計画作成に向けた各種調査等に関する説明会（国資料）



1 普及啓発・本人発信支援

<R5 年度当初要求額 10,238 千円>

(1) 認知症サポーター等の養成

市町村における認知症サポーターの養成を支援するため、認知症サポーター養成講座で講師を務めるキャラバン・メイトを養成する。

また、市町村と協働して、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

【岡山県全体の養成数（各年度末時点の累計養成数）】

種別	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
キャラバン・メイト数	3,025人	3,071人	3,155人	3,220人
認知症サポーター数	193,916人	202,619人	212,379人	216,389人

※R4 年度は9 月末までの実績

※キャラバン・メイト養成研修…年1 回開催、27 人修了（令和4 年度実績）

(2) 認知症に関する理解促進

ア VRシステムによる認知症の普及啓発

VR（仮想現実）機材を活用し、座学だけではなかなか実感がわからない認知症の中核症状等を疑似体験することを通じて、認知症に対する正しい理解を深め、認知症の方や介護家族等への適切な対応方法をグループワークで考える出前研修会を実施する。

(ア) 主な研修対象者

医療・介護サービス施設等の管理者、介護家族、市町村及び地域包括支援センター職員等

(イ) 研修受講者数

年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
研修受講者数	736人	中止	152人	257人

※R4 年度は12 月末までの実績

(3) 認知症の人本人からの発信支援

ア 本人ミーティングの開催

県下の認知症当事者が集い、当事者同士が主となって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う機会を設ける。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) R4 年度実績 計1 回実施

※12 月末までの実績

(4) 認知症パンフレットの作成【R5 新規】

認知症の人の不安や孤立感、家族の負担感を軽減するため、認知症に関する正しい知識や相談先等を記載したパンフレットを作成し、医療機関等で配布する。

2 予防

<R5 年度当初要求額 11,250 千円>

(1) 通いの場の普及促進

介護予防に有効とされる週1回以上、住民運営で体操を行う通いの場を普及促進するため、県内先進事例の横展開や住民運営のノウハウ提供、情報誌の作成を行うとともに、通いの場参加者やボランティアを対象としたフォーラムを開催し、広く県民に通いの場の魅力を発信する。さらに、市町村に対しては、専門家等を活用し、通いの場の介護予防効果測定や、地域の実情に応じた通いの場の立ち上げ支援する。

【通いの場の箇所数】

年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
箇所数	1,226 箇所	1,378 箇所	1,310 箇所	1,362 箇所

(2) 通所付添サポート事業の実施

ア アウトリーチの実施

県庁に配置している市町村支援員や、アドバイザー派遣による、通所付添サポートの立ち上げ支援

イ 通所付添サポーターの養成

自力で通いの場等への参加が困難な高齢者の誘い出しや、付添を行う元気な世代の高齢者等を対象に、安心して活動するために必要な基本的知識・技術を学ぶ講習を開催

ウ 介護予防先導モデルへの補助

市町村が実施する住民互助による通所付添活動の立ち上げ支援に要する経費を補助(補助率 10/10 上限 50 万円)

【通所付添サポート事業の実施市町村及び通所付添サポーター養成者数】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
市町村名	吉備中央町	備前市 矢掛町 奈義町	赤磐市 早島町 里庄町 新庄村 西粟倉村	高梁市	笠岡市	
養成者数	42 人	65 人	167 人	70 人	48 人	56 人

※事業実施前にサポーターを養成した市町村を含む。

3 医療・ケア・介護サービス

＜R5 年度当初要求額 39,497 千円＞

(1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備

ア 岡山県認知症疾患医療センターの設置

地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要な医療を提供できる機能体制の構築を図るため、認知症に係る地域連携の拠点となる認知症疾患医療センターとして、8病院を指定している。

(ア) 指定状況

※人口はR3. 10. 1現在の「毎月流動人口」

二次保健医療圏	65歳以上人口(人)	高齢化率	病院名(所在地)	指定期間
県南東部	258,336	29.1%	岡山大学病院(岡山市北区)	R3. 4. 1～R6. 3. 31 (H24. 3. 28)
			慈圭病院(岡山市南区)	R3. 4. 1～R6. 3. 31 (H24. 3. 28)
			岡山赤十字病院(岡山市北区) ※岡山市が指定	—
県南西部	201,168	30.9%	川崎医科大学附属病院(倉敷市)	R3. 4. 1～R6. 3. 31 (H24. 3. 28)
			倉敷平成病院(倉敷市)	R3. 4. 1～R6. 3. 31 (H24. 3. 28)
			きのこエスポール病院(笠岡市)	R3. 4. 1～R6. 3. 31 (H27. 8. 1)
高梁・新見	23,282	42.1%	こころの医療たいよの丘 ホスピタル(高梁市)	R3. 4. 1～R6. 3. 31 (H25. 10. 22)
真庭	17,344	40.6%	向陽台病院(真庭市)	R2. 4. 1～R5. 3. 31 (H29. 8. 1)
津山・英田	59,258	35.0%	積善病院(津山市)	R2. 4. 1～R5. 3. 31 (H26. 11. 19)
合計	559,388	31.0%		

(イ) 指定病院の役割

a 専門的医療機能

- (a) 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- (b) 認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応
- (c) 専門医療相談

b 地域連携拠点機能

- (a) 認知症疾患医療センター地域連携会議の設置及び運営
- (b) 研修会の開催

c 診断後等支援機能

- (a) 診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援
- (b) 当事者等によるピア活動や交流会の開催

d 事業の着実な実施に向けた取組の推進

※センター間の連携体制の確立や医療・介護・福祉間の連携推進などについて検討する認知症疾患医療センター連絡会議を毎年開催している。

(2) 認知症サポート医の養成

ア 認知症サポート医の養成

認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医に対する助言等の支援を行い、専門医療機関や市町村地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

(ア) 委託先

- a 受講者選定・派遣 岡山県医師会
- b 研修実施主体 国立長寿医療研究センター

(イ) 養成者数（自費参加者を含む）

研修名	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症サポート医養成研修修了者数	21人	中止	20人	14人

イ 認知症サポート医フォローアップ研修

認知症サポート医等に対し、認知症の診断・治療・ケア等に関する研修、症例検討等を通じて、地域における認知症の人への支援体制の充実や、地域における認知症サポート医の連携・強化を図るための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症サポート医 フォローアップ研修	開催回数	2回	1回	1回	1回
	修了者数	75人	42人	56人	61人

(3) 医師等の認知症対応力の向上

ア かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人本人とその家族を支える知識と方法を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
かかりつけ医 認知症対応力向上研修	開催回数	2回	中止	中止	2回
	修了者数	29人	—	—	19人

イ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

病院に勤務する医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
病院勤務の医療従事者向け 認知症対応力向上研修	開催回数	4回	3回	中止	4回
	修了者数	328人	124人	—	158人

ウ 歯科医師認知症対応力向上研修

高齢者が受診する歯科医師に対し、認知症の人本人と家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県歯科医師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
歯科医師 認知症対応力向上研修	開催回数	1回	1回	1回	—
	修了者数	139人	179人	177人	—

※R4 年度は3/9 開催予定

エ 薬剤師認知症対応力向上研修

高齢者が受診した際や受診後等に接する薬局・薬剤師に対し、認知症の人本人とその家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県薬剤師会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
薬剤師 認知症対応力向上研修	開催回数	2回	2回	1回	1回
	修了者数	324人	140人	682人	268人

オ 看護職員認知症対応力向上研修

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県看護協会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
看護職員 認知症対応力向上研修	開催回数	2回	2回	2回	—
	修了者数	142人	50人	45人	—

※R4年度は1/31 修了予定

(4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成

ア 認知症介護基礎研修

新任の介護職員等に対し、認知症介護に関する基礎的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県社会福祉協議会

(イ) 定員 集合70人×1回、eラーニング定員無し

(ウ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症介護基礎研修	開催回数	3回	3回	—	—
	修了者数	150人	85人	293人	852人

※R4年度は12月末までの実績

イ 認知症介護実践研修

高齢者介護実務者に対し、認知症介護に関する実践的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

(ア) 実施方法 県が指定する法人が実施

a 実践者研修 …岡山県社会福祉協議会、岡山市ふれあい公社
岡山県老人保健施設協会

b リーダー研修 …岡山県老人保健施設協会、岡山市ふれあい公社
【休止中】新生寿会

(イ) 修了者数

研修名	区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症介護実践者研修	開催回数	7回	6回	6回	6回
	修了者数	357人	258人	201人	206人
認知症介護 実践リーダー研修	開催回数	2回	1回	1回	1回
	修了者数	59人	34人	33人	15人

※修了者数には前年度からの延期分を含む

※R4年度は12月末までの実績

ウ 認知症対応型サービス事業管理者等養成研修

認知症高齢者グループホームの管理者や開設者、小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者等に対して、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施する。

(ア) 委託先 岡山県社会福祉協議会

- (イ) 定員
- a 開設者研修 20人×1回
 - b 管理者研修 45人×3回
 - c 計画作成担当者研修 40人×1回

(ウ) 修了者数

研修名	開催回数	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症対応型サービス事業 開設者研修修了者数	年1回	9人	1人	11人	11人
認知症対応型サービス事業 管理者研修修了者数	年3回	107人	66人	73人	54人
小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修修了者数	年1回	28人	26人	28人	25人

※管理者研修のR4年度は12月末までの実績

エ 認知症介護指導者養成研修

認知症介護に関する専門的な知識・技術を有し、認知症介護研修を企画・立案し、講義、演習、実習を担当することができ、また、介護保険施設・事業者等における介護の質の改善について指導できる認知症介護指導者を養成する。また、そのフォローアップ研修を実施する。

研修名	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症介護指導者養成研修修了者数	0人	0人	0人	2人
認知症介護指導者 フォローアップ研修修了者数	2人	2人	1人	0人

4 地域で支える体制の整備

<R5年度当初要求額 46,404千円>

(1) 認知症の人とその家族への支援

ア 認知症コールセンターの運営

認知症の人やその家族が悩みやストレスを抱え込んでしまうことがないよう、岡山市と共同で社会福祉士や介護支援専門員等の専門職が対応する「おかやま認知症コールセンター」を設置している。

(ア) 電話番号等 086-801-4165 (晴れて一番 よい老後)

月曜日～金曜日 10:00～16:00

(イ) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(ウ) 相談件数

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	407件	516件	552件	445件

※R4年度は12月末までの実績

イ 認知症高齢者・家族交流会の開催

認知症サポート医等の認知症理解についての講演、介護の体験談の発表、グループワーク等を通じて、介護経験者と介護に不安を持つ介護家族及び認知症高齢者本人等の交流会を実施する。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) R4年度実績 備前県民局及び備中県民局管内3回実施予定

(2) 若年性認知症の人への支援

ア おかやま若年性認知症支援センター

若年性認知症の人とその家族等を対象とした相談窓口として設置。若年性認知症支援コーディネーター(※)4名で対応。

※新オレンジプランにおいて、各都道府県に配置することとされている若年性認知症の人の自立支援に関わる関係者のネットワークの調整役。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) 主な業務

a 電話相談・面談・訪問

(a) 電話番号 086-436-7830

(b) 相談日・時間 月曜日～金曜日 10:00～16:00

(c) 相談体制等 コーディネーター(保健師、社会福祉士等の専門職)が、電話相談に対応し、内容に応じて適宜面談等を実施。

(d) 相談内容 受診、治療、就労、社会参加、介護サービス等

b 個別ケア会議

c 医療、介護、福祉、就労等の総合的な支援に向けて関係団体等が参画するネットワーク会議の開催

d 市町村・地域包括支援センター職員等への研修会等の普及活動

(ウ) 活動報告

a 電話相談集計報告

年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
相談件数 (延)	27件	223件	248件	198件

※R4年度は12月末までの実績

b R4年度普及活動

関係機関の訪問や、研修講師等（サポート医のつどい、地域包括支援センター等）

イ 若年性認知症の人と家族の集い

若年性認知症の人やその家族が集い、共同作業、レクリエーション、情報・意見交換等を行う「ひまわりの会」を開催する。（年6回程度開催）。

(ア) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

(イ) R4年度実績 計5回実施（12月末まで）

(3) 市町村の取組の支援

ア 認知症初期集中支援チーム員研修事業

認知症初期集中支援チームのチーム員等がその活動に必要な知識・技能を身に付けるため、国立長寿医療研究センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における支援チームの配置を推進するとともに、支援チームの質の確保・向上を図る。

研修名	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症初期集中支援チーム員研修 修了者数	38人	5人	15人	23人

※R4年度は12月末までの実績

イ 認知症地域支援推進員研修事業

認知症地域支援推進員等がその活動に必要な知識・技術を身に付けるため、認知症介護研究・研修東京センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における推進員の配置を推進するとともに、推進員の質の確保・向上を図る。

研修名	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症地域支援推進員研修修了者数	51人	中止	54人	43人

ウ チームオレンジ研修事業

認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みとして、チームオレンジの整備に取り組む市町村を支援するため、市町村職員やコーディネーター等に対し、活動に必要な知識や技術を伝達するとともに、先進自治体の取組事例を紹介することにより、活動の推進を図る。

研修名	R2年度	R3年度	R4年度
チームオレンジ研修受講者	102人	98人	74人

エ 認知症ケアに係る医療連携体制整備事業

認知症ケアパスや認知症地域連携パス等の作成やその運用体制の構築に係る経費、認知症ケアパス等を周知・普及させるための研修会の実施に係る経費を補助する。

- (ア) 実施主体 市町村、郡市等医師会、認知症疾患医療センター
- (イ) 令和4年度実施団体 2団体（倉敷市、新見医師会）

オ 市町村認知症事業連絡会の開催

認知症の人やその家族を地域で支える体制づくりを推進するため、県内市町村の取組事例の伝達や意見交換など、市町村や地域包括支援センターの職員等を対象とした研修会を開催する。

- (ア) 対象 市町村や地域包括支援センターの職員等
- (イ) 開催回数 各県民局 年1回（計3回）
- (ウ) 内容 市町村の前年度活動実践報告及び参加市町村間での意見交換

カ 岡山県認知症対策連携会議の設置

行政と医療・介護・福祉等の関係者が連携し、県内における総合的な認知症対策を円滑に推進するための検討を行う組織として設置する。

(4) 成年後見制度の利用促進

認知症高齢者の増加などにより、成年後見制度の利用が必要となる人の増加が見込まれる中、成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう、必要な施策を実施する。

ア 市民後見人養成講座（基礎研修）の実施（日程：7日間）

市民後見人養成講座を県南・県北会場の2会場で実施する。

<令和4年度実績>

県南会場（岡山市）	東京リーガルマインドに委託
県北会場（津山市）	津山市社会福祉協議会に委託
修了者数	85名

イ 市民後見推進に係る市町村支援

市町村が実施する市民後見人養成応用研修、フォローアップ研修等を支援する。

<令和4年度実績> 9市町村

ウ 市町村・中核機関職員を対象とした成年後見制度利用促進研修会

市町村や中核機関の職員が、県内どの地域においても成年後見制度の必要な者が制度利用できる等地域体制の構築を図るため必要な知識及び技術等を習得することを目的とした研修会を実施する。

<令和4年度実績>

令和4年11月4日（金） 岡山県社会福祉協議会へ委託実施

参加者 42名

エ 市町村連絡会議

市町村における成年後見制度の利用促進の取組状況等について情報共有を図り、市町村の取組の推進に寄与するため連絡会議を開催する。

<令和4年度実績>

令和4年12月19日（月） 美作県民局管内

令和4年12月23日（金） 備前県民局管内

（備中局は倉敷市主催で令和4年11月28日（月）に研修会を実施）

オ 市町村情報交換会の開催

市町村における成年後見制度利用促進に係る中核機関の設置・運営等について支援するため、市町村、家庭裁判所、三士会、県社会福祉協議会等と情報交換を行う。

<令和4年度実績>

各県民局単位で2～3月に開催予定

カ 法的相談窓口設置

市町村からの高齢者虐待防止、高齢者の権利擁護に関する相談に対し、受付窓口を設置するとともに弁護士の援助を行う。

<令和4年度実績>

（（公財）リーガル・エイド岡山 実績：0件）R4年9月までの実績

(5) 行方不明の認知症高齢者への対応

ア 広域ネットワークの運営

徘徊等により行方不明となった認知症高齢者の早期発見・保護等を行うため、市町村で運営されている徘徊・見守りネットワーク等の効率的な連携を図るために運営。

※ネットワークの利用状況（R3.6.1～R4.5.31）

・行方不明発生通報件数 50件

・うち広域ネットワークへの検索依頼件数 10件

イ 協力事業者の登録

認知症高齢者の行方不明時の捜索等に協力してもらえる県内の広域交通関係事業者等を登録し、市町村に提供。

※協力事業所 27事業所（R4.3.31現在）

第8期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画に係る目標

項 目	岡山県		
	実績 (R元年度末)	実 績 (R3年度末)	目 標 (R5年度末)
1 普及啓発・本人発信支援			
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	193,916人	212,379人	240,000人
2 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援			
認知症サポート医の数	232人	258人	313人
かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数(累計)	1,831人	1,870人	2,080人
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修修了者数(累計)	1,952人	2,076人	2,680人
看護職員認知症対応力向上研修修了者数(累計)	429人	524人	620人
歯科医師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	420人	776人	780人
薬剤師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	933人	1,755人	1,730人
認知症介護実践研修(実践者研修)修了者数	9,603人	10,062人	10,800人
認知症介護実践研修(実践リーダー研修)修了者数	1,229人	1,296人	1,420人
認知症介護指導者養成研修修了者数	47人	47人	50人
3 地域で支える体制の整備			
チームオレンジ設置市町村数	0市町村	3市町村	10市町村

市町村別認知症施策の取組状況について

圏域	市町村	高齢化率	疾患医療センター (箇所)	サポート医 (人)	かかりつけ医研修修了者 (人)	初期集中支援チーム (チーム数)	地域支援推進員 (人)	認知症ケアパス	チームオレンジ (箇所)	認知症カフェ (箇所)	SOSネットワーク
県南東部	岡山市	26.7%	3	93	863	1	8	○	1	36	○
	玉野市	39.4%		5	33	1	6	○	2	2	
	備前市	40.5%		6	16	1	6	○		6	○
	瀬戸内市	35.1%		6	21	1	4	○		2	○
	赤磐市	34.2%		5	20	1	3	○		1	○
	和気町	41.7%		3	10	1	3	○		2	○
	吉備中央町	42.7%		1	12	1	3	○		4	○
計		29.1%	3	119	975	7	33	7	3	53	6
県南西部	倉敷市	29.2%	2	55	435	3	4	○	1	21	○
	笠岡市	38.9%	1	4	11		9	○		5	○
	井原市	37.8%		1	14	1	11	○		3	○
	総社市	28.8%		8	31	1	1	○	1	13	○
	浅口市	37.1%		7	19	1	2	○		5	○
	早島町	28.0%		4	7	1	3	○		2	○
	里庄町	32.0%		3	4	1	5	○		1	○
	矢掛町	39.4%		6	11	1	2	○		1	○
計		30.9%	3	88	532	9	37	8	2	51	8
高梁・新見	高梁市	42.2%	1	5	30	1	6	○	1	9	○
	新見市	42.1%		5	16	3	2	○		4	○
	計		42.1%	1	10	46	4	8	2	13	2
真庭	真庭市	40.6%	1	7	54	1	2	○		7	○
	新庄村	43.8%			1						○
	計		40.6%	1	7	55	1	2	1	7	2
津山・英田	津山市	31.4%	1	9	179	1	2	○		5	○
	美作市	42.4%		4	35	1	1	○		3	○
	鏡野町	39.2%		2	15	1	3	○		3	○
	勝央町	32.3%		1	16	1	3	○		3	○
	奈義町	35.7%		1	8	1	2			1	○
	西粟倉村	36.2%		1		1	1				○
	久米南町	45.0%		1	1	1	4	○		1	○
	美咲町	41.8%		1	6	1	3	○		2	○
計		35.0%	1	20	260	8	19	6	0	18	8
合計		31.0%	9	244	1,870	29	99	24	6	142	26

※高齢化率はR3. 10. 1時点、初期集中支援チーム・地域支援推進員はR4. 4. 1時点、認知症ケアパスはR4. 3. 31時点、チームオレンジはR4. 11. 30時点、認知症カフェはR4. 7. 1時点、SOSネットワークはR4. 5. 31時点、それ以外はR4. 6. 1時点

令和3年度 岡山県認知症疾患医療センター(8センター)の活動実績

1. 専門医療相談

方法	延回数
電話	3,770
面接	453
訪問	54
その他	126
合計	4,403

2. 専門医療相談(相談元)(1の内訳)

相談元	延回数
本人から	371
家族等介護者から	2,200
地域包括支援センターから	451
医療機関(かかりつけ医等)から	545
介護事業所等から	803
行政機関から	88
院内他科から	33
合計	4,491

3. 受診の経緯

紹介元	件数
地域包括支援センターから	150
医療機関(かかりつけ医等)から	1,234
介護事業所等から	193
行政機関から	73
その他	140
合計	1,790

4. 受診後の情報提供

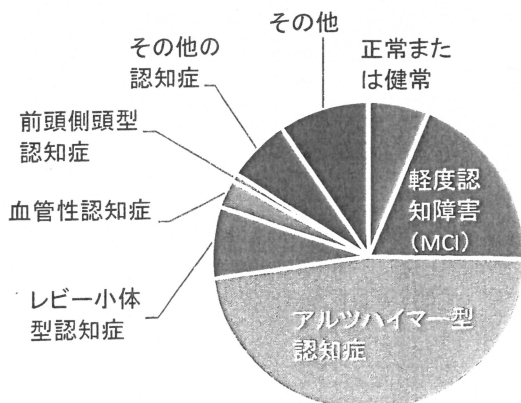
情報提供先	件数
地域包括支援センターへ	33
医療機関(かかりつけ医等)へ	1,597
介護事業所等へ	77
行政機関へ	34
その他	33
合計	1,774

5. 鑑別診断件数

鑑別診断結果	件数(実数)
正常または健常	165
軽度認知障害(MCI)	503
アルツハイマー型認知症	1,247
レビー小体型認知症	198
血管性認知症	77
前頭側頭型認知症	21
その他の認知症	175
認知症合計	1,718
認知症合計のうち、65歳未満	33
その他	244
合計	2,630

6. その他

- ・ 診断後の支援(相談支援) 8センター
- ・ 診断後の支援(患者会等) 2センター
- ・ 地域連携会議の実施 8センター
- ・ 研修会開催(重複計上あり)
医療従事者対象 7センター
地域包括支援センター等 7センター
家族・地域住民対象 5センター
院内全診療科対象 6センター
- ・ 他の研修会への講師派遣 8センター
- ・ 初期集中支援チームへの関与
チーム設置 1センター
チーム員として参加 4センター
後方支援 1センター



地域住民対象研修の一部

